

# たい肥作りの実演や販売

日曜日の午後、御堂筋の側道を一部開放するイベント「御堂筋オーブンテラスIN心斎橋」（大阪市など主催）の一環として、豊中の環境グループ「とよなか市民環境会議」が12日、参加する。同会議の「生ごみ堆肥化実験プロジェクト」（高島邦子代表）が、たい肥作りの実演と販売などを行い、買い物客らに家庭で取り組める環境問題を訴える。

会場は中央区心斎橋筋1の大丸心斎橋店本館西側の御堂筋側道。

午後1時から同6時まで、車両を通行止めにして人工芝を敷き詰めたオーブンテラスを特設。イチヨウ並木や花壇に囲まれた会場で、同プロジェクトは生ごみから作つ

たたい肥（5kg入り200円）や花を販売、ガーデニングの実演などを通して活動を紹介する。

同会議は市民、事業者、行政が参加して1996年に設立。生ごみ堆肥化プロジェクトでは、豊中市役所の食堂から出る生ごみや量販店の野菜くず、公園で剪定した枝を混合発酵させて完熟たい肥を作ったり、このたい肥を使った花作り「花いっぱい運動」を同市の清谷池公園で行うなど、家庭の生ごみのたい肥化に取り組んでいる。

## 御堂筋オーブンテラスIN心斎橋

高島代表は「たくさんの人々に環境問題の大切さ、土いじりの楽しさを知つてもらいたい」と話している。

【山崎 明子】

## 12日に豊中の環境グループ

2002.11.

毎日新聞